

【実施概要】

会議名	令和２年度三郷市立小・中学校通学区域編成審議会（適正規模・適正配置第５回）
日時	令和２年１１月２７日（金）午後１時３０分～午後２時１５分
場所	三郷市役所６階 全員協議会室
出席者	佐々木六男（会長）、鏡宏美（副会長）、肥沼武史、雄賀多恒郎、小堺正之、田村公平、内田和夫、前田雅久、小橋恒夫、加藤正、石田高幸、直井千秋
事務局	[教育委員会] 魚躬隆夫（学校教育部長）、浮田勝之（学校教育部理事兼副部長）、高橋英樹（学校教育部参事兼学務課長）、木原正裕（教育総務課長）、柳田徹（教育総務課副参事兼教育環境整備室長）、石山智仁（学務課学務係長）、藤田昇平（教育総務課教育環境整備室主事）

【議事内容】

１ 開会

事務局	三郷市立小・中学校通学区域編成審議会を開会いたします。
-----	-----------------------------

２ 会長あいさつ

事務局	会長よりごあいさつをお願いいたします。
会長	（会長あいさつ）

３ 会議の公開について

会長	会議の公開について審議いたします。事務局に説明を求めます。
事務局	（会議の公開について） 本日、傍聴の申し込みはありません。
会長	傍聴者がおりませんので、このまま議事を進めます。

４ 議題

答申（案）について

会長	答申（案）について、事務局に説明を求めます。
事務局	前回の審議会で提示した答申（案）の一部を修正しました。 修正した内容について説明します。 「鑑文」については、「とりまとめました」としていましたが、他のところと表現を統一するため、「とり」を漢字にし「取りまとめました」にしました。 「１ 答申」については、「一定の規模の中で」としていましたが、「一定規模の中で」にしました。また、「前項の次に検討すべき地域」としていましたが、文書関係を扱う部署と協議のうえ「前項」を「前号」にしました。以降、同じ表現のものは、同様に修正しています。

	「2 答申理由」については、(1) のところで「市内」としていましたが、表現を統一するため「本市」にしました。また、「単学級となる」としていましたが、「単学級になる」にし、以降、同じ表現のものは、同様に修正しています。さらに、「また、隣接している小学校2校の児童数の合計を比較すると、この2校が最も少なくなる見込みとなっています」の部分を削除しました。これは、本審議会第1回から第4回で審議してきた学校以外にも、隣り合っている学校の組み合わせがあり、どの学校同士を比較した結果なのか大変分かりにくいことと、「後谷小学校については、本市で唯一、令和10年度にかけて全ての年度で全学年単学級になることが推計されています」としており、先行して検討すべき地域としての理由が明確であるためです。 「3 付帯意見」については、(6) のところで、「各種学校行事」としていましたが、学校教育法において「各種学校」という教育施設が存在することから、混同を避けるために「各種」を削除しました。また、「成り立ちません。このことから」としていましたが、「成り立たないことから」にしました。さらに、「町会等の区域と通学区域については配慮してください」としていましたが、何に対して配慮するのかを明確にするために「その整合について」という記述を加えました。 「4 その他の検討地域(今後の状況を注視していく必要がある地域)」については、(5) のところで「前川中学校の生徒数減少が続く、前川中学校については」としていましたが、「前川中学校」に係る表現の重複を避けるために「前川中学校については」の部分を削除しました。また、「推計されております」としていましたが、表現を統一するため「推計されています」にしました。さらに、「市」としていましたが、表現を統一するため「本市」にしました。 「5 審議の経緯」については、「諮問事項に係る検討のため」としていましたが、「諮問事項を検討するため」にしました。 「6 審議の観点」については、(1) のところで「各学校」としていましたが、表現を統一するため「学校」にしました。 「7 むすびに」については、「学校統合等の検討を、早期に取り組むべき」としていましたが、「学校統合等を検討することについて、早期に取り組むべき」にしました。また、「本市の児童生徒」としていましたが、表現を統一するため「児童生徒」にしました。さらに、「適切な教育環境を提供していくことを」としていましたが、「適切な教育環境の提供を」にしました。 「答申 添付書類」については、「答申 参考資料」に修正しましたが、これは、「7 むすびに」までが答申であることを明確にするためと、この資料を参考にして様々な審議が行われてきましたが、資料の数字だけで答申に至ったわけではないためです。また、資料3は、グラフの目盛りの微調整を行いました。 以上で、答申(案)についての説明を終わります。
会長	答申(案)についての説明が終わりました。 質問やご意見がありましたら、お願いいたします。
委員	「3 付帯意見」については、(6) のところで「地域による支援活動なくしては」と読み上げていましたが、本文には「地域による支援活動なくして」としか記述がありません。

	ん。「は」は入りますか。また、「その整合性について」と読み上げていましたが、本文には「その整合について」としか記述がありません。「性」は入りますか。 「5 審議の経緯」については、「5 回に及ぶ」と記述されていますが、この下に第5回まで審議していることが明記されています。このことから、この部分については削除した方が良いと思います。 「7 むすびに」については、「適正規模・適正配置に向けた学校統合等を検討することについて、早期に取り組むべきであることが改めて見えてきました」と記述されていますが、これでは「学校統合を検討することを検討する」と言っているように受け取れます。「検討しなければならない」等の表現に修正した方が良いと思います。
事務局	「3 付帯意見」(6)については、「地域による支援活動なくしては」の方が自然であると思いますので、「は」を加えます。また、「その整合について」については、「整合性」だとか何か正解があるという印象を与えてしまうと考え、少し柔らかい表現にしています。読み上げの間違えについては訂正いたします。 「5 審議の経緯」については、そのように修正いたします。 「7 むすびに」については、誤解を招かない表現に修正いたします。
会長	「7 むすびに」については、委員からのご意見を尊重して修正してください。他にありますか。
委員	「2 答申理由」については、(1)のところで「全ての年度で」と記述されていますが、この表現に違和感があります。「学年度」等の表現の方が良いのではと思います。 「7 むすびに」については、「学校統合等」と記述されていますが、この「等」は必要ですか。また、「早期に取り組むべきであることが改めて見えてきました」と記述されていますが、これは、答申の段階になって改めて見えてきたものではないので、この部分については「取り組むべきである」と言い切った方が良いと思います。
事務局	「2 答申理由」(1)については、表現を修正いたします。 「7 むすびに」については、まず、「学校統合等」の「等」は、通学区域の変更を指しています。基本的には学校統合を検討していくことになると思いますが、各地域の状況から通学区域の変更で対応することなくはないことから「学校統合等」としています。また、「早期に取り組むべきであることが改めて見えてきました」と記述している部分は、言い切る表現に修正いたします。
会長	「1 答申」については、「一定規模の中で」と記述されていますが、本審議会では、適正規模・適正配置に向けて審議してきました。このことから、この部分については「適正規模の中で」とした方が適切であると思います。
事務局	表現を修正いたします。
会長	ありがとうございました。ご質問は以上でよろしいですか。 答申(案)については、委員の皆様からの意見を基に修正を加えていく必要があるものと考えますが、今回の修正については、表現上の微調整だと思いますので、私と事務局に一任していただくことでよろしいですか。
一同	異議なし。
事務局	ご異議なしと認め、今回諮問を受けた「三郷市立小・中学校教育環境整備計画(令和2

	年３月改定）に基づく学校の適正規模・適正配置に向けた検討対象地域」については、以上の内容で答申します。事務局は、確定した答申書の写しを各委員へ送付してください。以上で本日の議題は全て終了いたしました。
--	---

５ 事務連絡

会長	事務局について、事務局からお願いいたします。
事務局	（事務局連絡）

６ 閉会

会長	以上をもちまして、本日の審議会を終了いたします。 閉会にあたり、学校教育部長にごあいさつをお願いいたします。
部長	（部長あいさつ）
会長	続いて、副会長にごあいさつをお願いいたします。
副会長	（副会長あいさつ）
会長	最後に、私からごあいさつを申し上げます。 （会長あいさつ）
会長	皆さんお疲れさまでした。

以上